

## 土石流区域調査

様式2-5 基準地点及び土石流の流下方向の設定

調査年度	平成15年度
調査に基づく設定結果(確定)	基準地点及び土石流の流下方向の設定図
調査年度	平成15年度
調査の位置	飯能市 大河原
溪流番号	209-I-013
溪流名	堂平川
所在地	飯能市 大河原
基準地点	○
土石流の流下方向	→
基準地点の設定根拠	基準地点に設定した地点は谷出口であかつく崖線点であるため。
土石流の流下方向の設定根拠	基準地点より下流において流下方向に影響を及ぼす地形、構造物は特に存在しないため、直進するものと考えた。

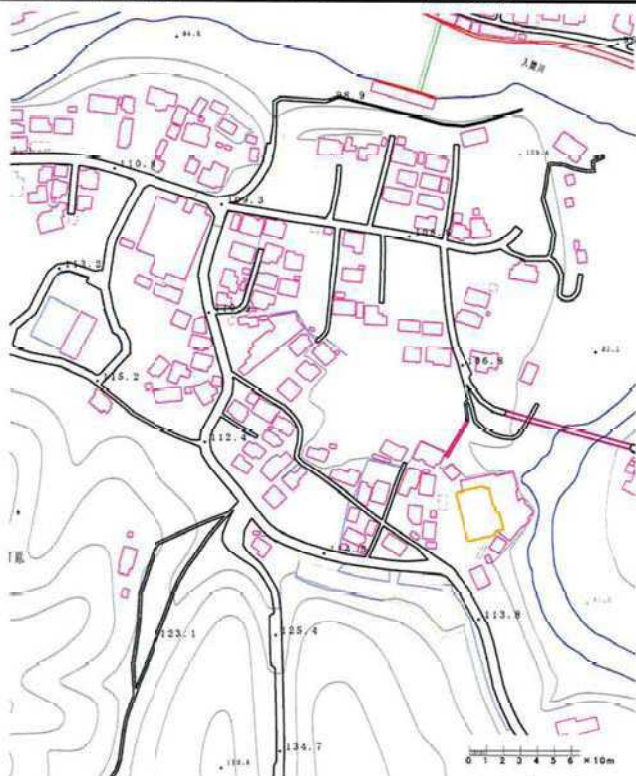


埼玉県

## 土石流区域調査

様式2-6 微地形および人工構造物の状況図

調査年度	平成15年度
調査の位置	飯能市 大河原
溪流番号	209-I-013
溪流名	堂平川
所在地	飯能市 大河原



埼玉県

### 土石流区域調査

様式3-1 危害のおそれのある土地、著しい危害のおそれのある土地の設定図



埼玉県

### 土石流区域調査

様式0-2 建築物に作用すると想定される衝撃に関する事項

調査年度				平成15年度			
溪流番号		209-1-013		溪流名		堂平川	
所在地				飯能市 大河原			
横断測線番号	土石流の高さh(m)	土石流の流体力Fd(kN/m <sup>2</sup> )	建築物の耐力P2(kN/m <sup>2</sup> )	横断測線番号	土石流の高さh(m)	土石流の流体力Fd(kN/m <sup>2</sup> )	建築物の耐力P2(kN/m <sup>2</sup> )
No. 0	0.877755728	15.01654253	8.516332024				
No. 1	0.597684348	7.54903243	11.80678703				
No. 2	0.610279425	6.013564078	11.59230372				
No. 3	0.619374569	5.455110835	11.4429356				
No. 4	0.621403811	5.352493418	11.41021664				
No. 5	0.616431324	5.615977903	11.49078128				
No. 6	0.615804967	5.652305094	11.50102348				
No. 7	0.618838776	5.48327341	11.45161102				
No. 8	0.619057297	5.471730766	11.44807095				
No. 9	0.644704499	4.473598315	11.04954631				
No. 10	0.70327249	3.272409947	10.25050209				
No. 11	0.711518543	3.156363267	10.14879571				
No. 12	0.766552757	2.550482615	9.527427944				
No. 13	0.801184882	2.270830112	9.181379556				
No. 14	0.751887247	2.688880846	9.683877234				
No. 15	0.820582841	2.137294758	9.000721745				
No. 16	0.653564011	4.228624527	10.91928453				
No. 17	0.648214565	4.372410642	10.99750332				
No. 18	0.631751876	4.907253812	11.24669423				

埼玉県

土石流区域調査書

様式3-3(1) 危害のおそれのある土地等の調査等

調査年度 平成15年度

溪流の位置	溪流番号	209-1-013	溪流名	堂平川	所在地	飯能市 大河原			
地形概要	流域面積(km <sup>2</sup> )	0.09	土地の面積	20,500	m <sup>2</sup>				
危害のおそれのある土地の状況	土地の面積					20,500	m <sup>2</sup>		
土地利用	道路	水路	池沼	宅地	農地	山林	備考		
家戸数	戸								
公共施設等の状況	J R(m)	私鉄(m)	高速道路(m)	国道(m)	都道府県道(m)				
	市町村道(m)	その他道路(m)	河川(m)	橋梁(基)					
公共的建物 災害弱者関連施設	公共的建物全施設数			内、災害弱者関連施設数					
	建物番号	種類	構造	施設数	名称	建物番号	種類	構造	施設数
著しい危害のおそれのある土地の状況	土地の面積					0	m <sup>2</sup>		
土地利用	道路	水路	池沼	宅地	農地	山林	備考		
家戸数	全戸数	木造戸数	非木造戸数	構造不明戸数					
公共施設等の状況	J R(m)	私鉄(m)	高速道路(m)	国道(m)	都道府県道(m)				
	市町村道(m)	その他道路(m)	河川(m)	橋梁(基)					
公共的建物 災害弱者関連施設	公共的建物全施設数			内、災害弱者関連施設数					
	建物番号	種類	構造	施設数	名称	建物番号	種類	構造	施設数
警戒避難体制に関する調査	地域防災計画への記載の有無	有	自主防災組織の有無	有	計器設置の有無	無			
	最寄の雨量計の位置等	所在地	飯能市前ヶ貫1-1	名称	飯能	管理者	緯度	経度	
	基準雨量の設定の有無	警戒基準	避難基準	発生基準					
	予警報等情報伝達システムの有無	整備状況等							
	避難路の設定の有無	避難場所	位置	建築構造					
	住民への防災情報周知状況								
	防災訓練等の実施状況	その他							

埼玉県

土石流区域調査書

様式3-3(2) 危害のおそれのある土地等の調査等

調査年度 平成15年度

溪流の位置	溪流番号	209-1-013	箇所名	堂平川	所在地	飯能市 大河原
関係諸法令の指定状況	主に災害の防止に関する事項					
法律名	法規制区域・地区	有無	備考			
砂防法	砂防指定地	無				
地すべり等防止法	地すべり防止区域	無				
急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律	急傾斜地崩壊危険区域	無				
森林法	保安林	有				
	保安施設地区	無				
建築基準法	災害危険区域	無				
宅地造成等規制法	宅地造成工事規制区域	無				
主に土地の現状に関する事項						
法律名	法規制区域・地区	有無	備考			
統計法	人口集中地区	無				
主に建築や開発の動向に関する事項						
法律名	法規制区域・地区	有無	備考			
都市計画法	市街化区域	有				
	市街化調整区域	有				
	未編引き区域	無				
	準都市計画区域	無				
離島振興法	離島振興対策実施地域	無				
過疎地域自立促進特別措置法	過疎地域	無				
総合保養地域整備法	特定地域	無				
自然公園法	国立公園	無				
	国定公園	無				
	都道府県立自然公園	無				
都市緑地保全法	緑地保全地区	無				
自然環境保全法	原生自然環境保全地域	無				
	自然環境保全地域特別地区	無				

埼玉県

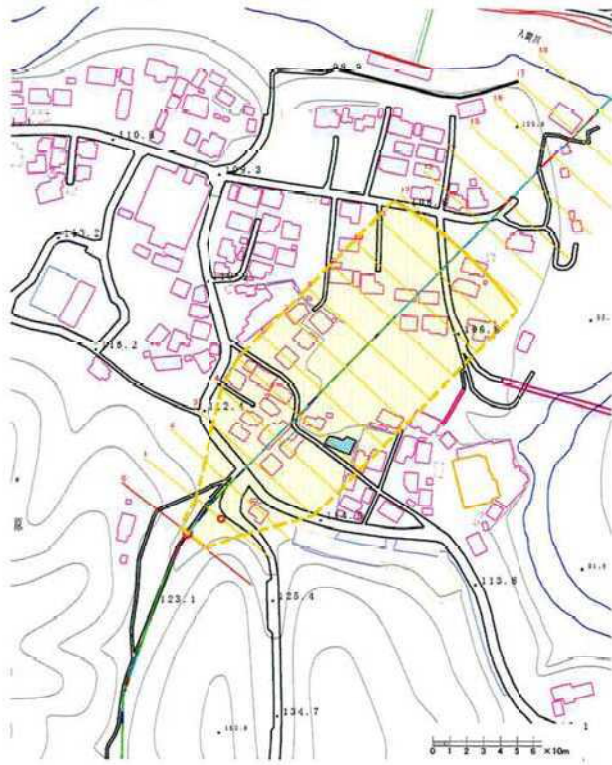


# 土石流区域調査

様式3-4 人家等の建築構造状況図

調査年度 平成15年度

溪流の位置	溪流番号	209-1-013	溪流名	堂平川	所在地	飯能市 大河原
-------	------	-----------	-----	-----	-----	---------



凡例

- 著しい危害のおそれのある土地の区域
- 危害のおそれのある土地の区域

〔建築物〕

- 白抜 戸建住宅
- 共同住宅
- 公共的建物(建物番号併記)
- 災害弱者関連施設(建物番号併記)

〔建築構造〕

- 木造
- 非木造

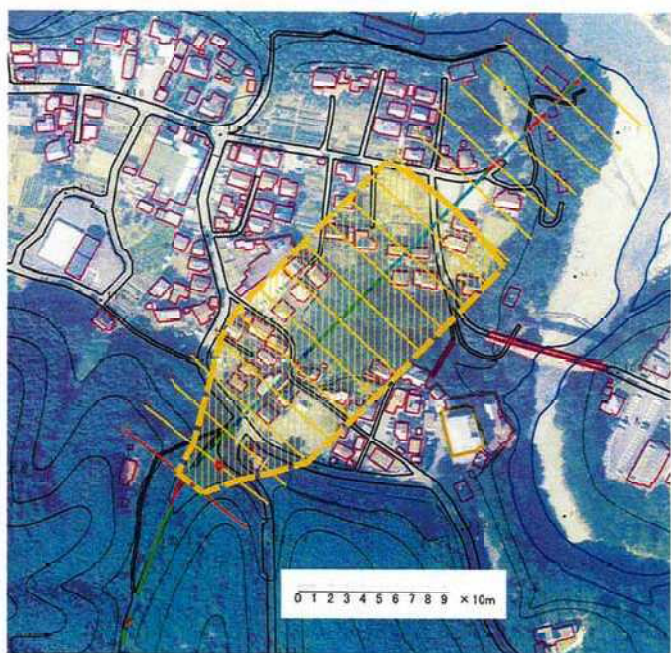
埼玉県

# 土石流区域調査

様式3-5 土地利用状況図

調査年度 平成15年度

溪流の位置	溪流番号	209-1-013	溪流名	堂平川	所在地	飯能市 大河原
-------	------	-----------	-----	-----	-----	---------



埼玉県

### 土石流区域調書

様式3-6 宅地開発の状況および建築の動向

調査年度 平成15年度

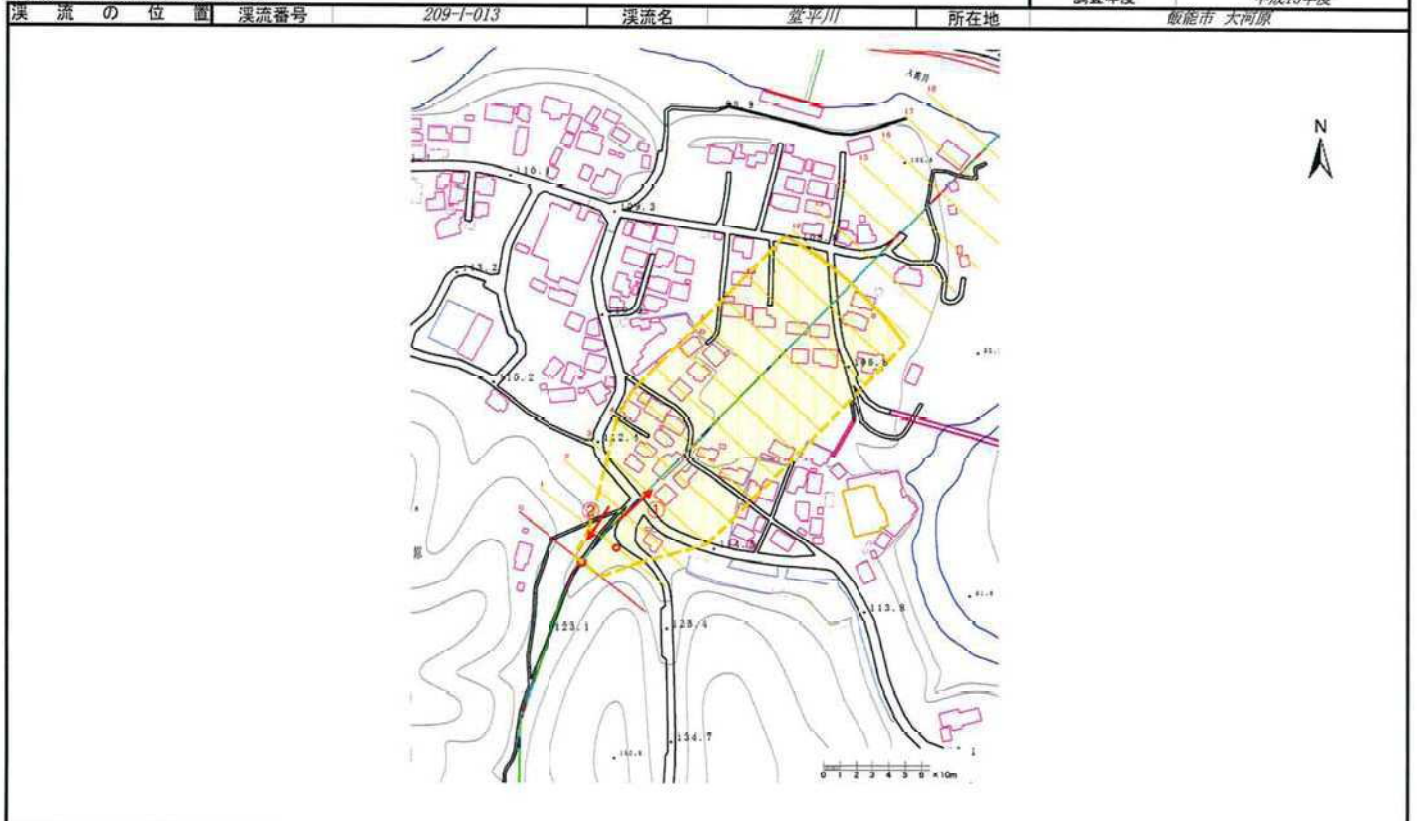
渓流の位置		渓流番号	209-I-013		渓流名	登平川		所在地	飯能市 大河原				
1) 人口の経年変化	市 町 村		15年前(人)(ア)	10年前(人)(イ)	増減		5年前(人)(ウ)	増減		基準年(人)(エ)	増減		
			(昭和 60年)	(平成 2年)	人口(人)	率[(イ-ア)/ア] ×100(%)	(平成 7年)	人口(人)	率[(ウ-イ)/イ] ×100(%)	(平成 12年)	人口(人)	率[(エ-ウ)/ウ] ×100(%)	
			都市計画区域内	15,000	14,900	-100	-1%	14,400	-500	-3%	14,000	-400	-3%
			市街化区域										
			市街化調整区域										
都市計画区域外													
準都市計画区域													
2) 都市計画区域の変遷			15年前(ha)(ア)	10年前(ha)(イ)	増減		5年前(ha)(ウ)	増減		基準年(ha)(エ)	増減		
			(昭和 60年)	(平成 2年)	面積(ha)	率[(イ-ア)/ア] ×100(%)	(平成 7年)	面積(ha)	率[(ウ-イ)/イ] ×100(%)	(平成 12年)	面積(ha)	率[(エ-ウ)/ウ] ×100(%)	
			都市計画区域の面積	6767	6767			6745	-22	0%	6745		
			市街化区域										
			市街化調整区域										
準都市計画区域の面積													
3) 地価の経年変化			15年前(円/m <sup>2</sup> )(ア)	10年前(円/m <sup>2</sup> )(イ)	増減		5年前(円/m <sup>2</sup> )(ウ)	増減		基準年(円/m <sup>2</sup> )(エ)	増減		
			(昭和 60年)	(平成 2年)	地価(円/m <sup>2</sup> )	率[(イ-ア)/ア] ×100(%)	(平成 7年)	地価(円/m <sup>2</sup> )	率[(ウ-イ)/イ] ×100(%)	(平成 12年)	地価(円/m <sup>2</sup> )	率[(エ-ウ)/ウ] ×100(%)	
			市町村の平均価格(円/m <sup>2</sup> )	112,000	110,000	-2000	-2%	103,000	-7000	-6%	90,800	-12,200	-12%
4) 建築確認申請の状況			10年前の申請数の合計(件)(ア)	7年前の申請数の合計(件)(イ)	増減		4年前の申請数の合計(件)(ウ)	増減		出典			
			(平成 4年)	(平成 8年)	申請数(件)	率[(イ-ア)/ア] ×100(%)	(平成 12年)	申請数(件)	率[(ウ-イ)/イ] ×100(%)				
			専用一戸建住宅										
			住宅 共同・その他										
			併用住宅										
合計													
5) 農地転用の状況			10年前の申請数の合計(件)(ア)	6年前の申請数の合計(件)(イ)	増減		2年前の申請数の合計(件)(ウ)	増減					
			(平成 4年)	(平成 8年)	申請数(件)	率[(イ-ア)/ア] ×100(%)	(平成 12年)	申請数(件)	率[(ウ-イ)/イ] ×100(%)				
			一般住宅										
			その他の住宅										
			合計										

埼玉県

### 土石流区域調書

様式3-7 写真・スケッチ・調査位置図

調査年度 平成15年度



埼玉県



## 土石流区域調査

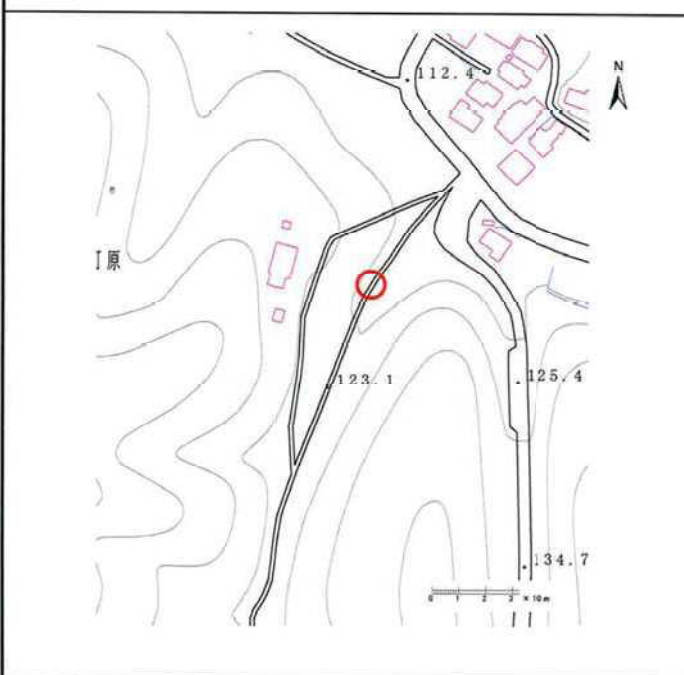
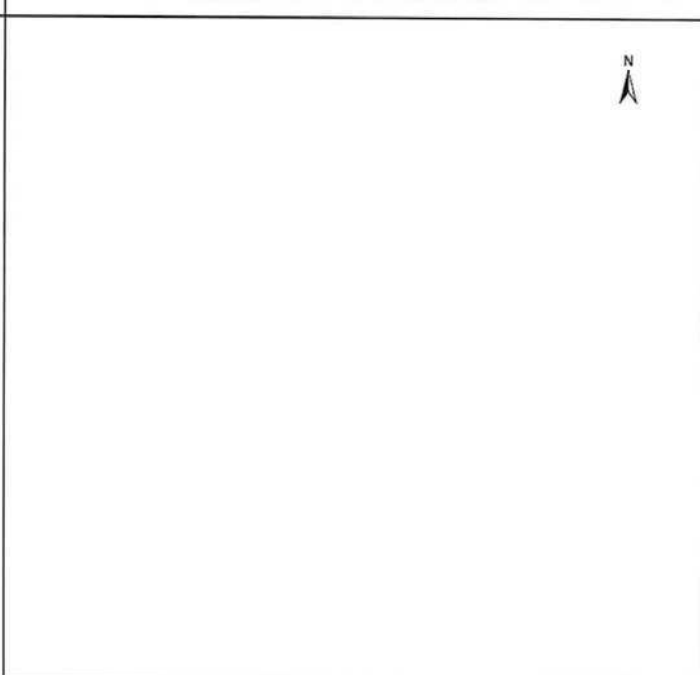
様式3-8 現地写真・スケッチ等

調査年度	平成15年度		
渓流の位置	渓流番号	渓流名	所在地
	209-1-013	釜平川	飯能市 大河原
			
土石流堆積物			
コメント	写真・スケッチ番号	写真・スケッチ番号	
基準点直下から流下方向を撮影。	1	2	基準点直下から基準点方向を撮影。

埼玉県

## 土石流区域調査

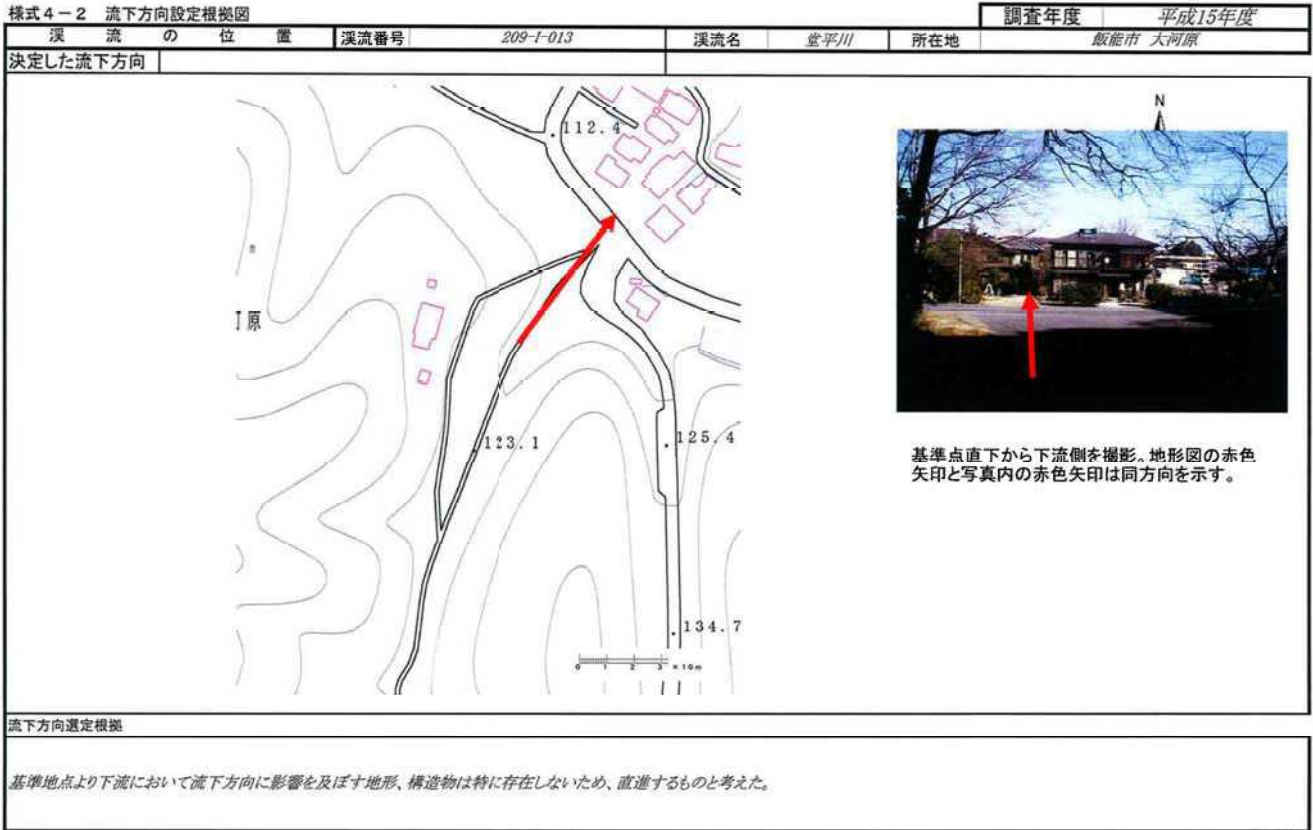
様式4-1 基準地点設定根拠図

調査年度	平成15年度		
渓流の位置	渓流番号	渓流名	所在地
	209-1-013	釜平川	飯能市 大河原
決定した基準地点			
			
<p>基準地点選定根拠</p> <p>基準地点に設定した地点は谷出口でありかつ遷移点であるため。</p>			

埼玉県

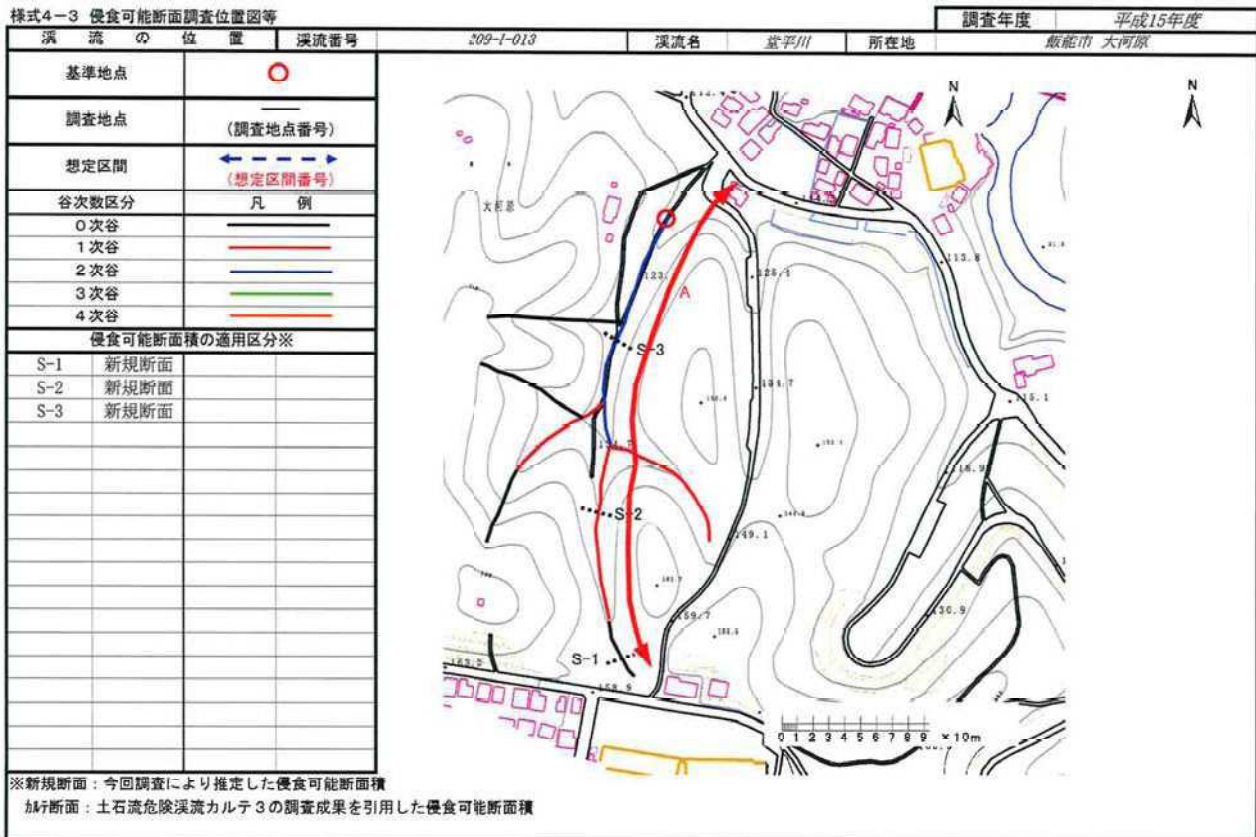
# 土石流区域調査書

様式4-2 流下方向設定根拠図



# 土石流区域調査書

様式4-3 侵食可能断面調査位置図等





### 土石流区域調査

様式4-4 想定土石流流出区間の検討

渓流の位置		渓流番号	渓流名		所在地		調査年度
		209-I-013	堂平川		飯能市 大河原		平成15年度
想定区間番号	A	施設効果を考慮した 侵食可能土砂量 (m <sup>3</sup> )		930		基準地点までの想定区間長 (m)	
想定区間内の 侵食可能土砂量	調査地点番号	谷 次 数	深 溝 長 L (m)	平均侵食幅 B (m)	平均侵食深 De (m)	侵食可能断面積 Ae (m <sup>2</sup> )	想定区間内の 対策施設
	S1	0 次 谷	45	8.0	0.3	2.4	
	S2	1 次 谷	120	5.0	0.5	2.5	
	S3	2 次 谷	130	8.0	0.5	4.0	
		3 次 谷					
		4 次 谷					
想定土石流流出区間		侵食可能土砂量 (m <sup>3</sup> ) (施設効果は考慮せず)		930		対策施設総効果量 (m <sup>3</sup> )	
想定区間番号	B	施設効果を考慮した 侵食可能土砂量 (m <sup>3</sup> )		0		基準地点までの想定区間長 (m)	
想定区間内の 侵食可能土砂量	調査地点番号	谷 次 数	深 溝 長 L (m)	平均侵食幅 B (m)	平均侵食深 De (m)	侵食可能断面積 Ae (m <sup>2</sup> )	想定区間内の 対策施設
		0 次 谷					
		1 次 谷					
		2 次 谷					
		3 次 谷					
		4 次 谷					
想定土石流流出区間		侵食可能土砂量 (m <sup>3</sup> ) (施設効果は考慮せず)		0		対策施設総効果量 (m <sup>3</sup> )	
想定区間番号	C	施設効果を考慮した 侵食可能土砂量 (m <sup>3</sup> )		0		基準地点までの想定区間長 (m)	
想定区間内の 侵食可能土砂量	調査地点番号	谷 次 数	深 溝 長 L (m)	平均侵食幅 B (m)	平均侵食深 De (m)	侵食可能断面積 Ae (m <sup>2</sup> )	想定区間内の 対策施設
		0 次 谷					
		1 次 谷					
		2 次 谷					
		3 次 谷					
		4 次 谷					
想定土石流流出区間		侵食可能土砂量 (m <sup>3</sup> ) (施設効果は考慮せず)		0		対策施設総効果量 (m <sup>3</sup> )	

埼玉県

### 土石流区域調査

様式4-5 土石流により流下する土石等の量の調査結果(調査地点の現地スケッチ・写真、平均侵食幅、平均侵食深、侵食可能断面積)

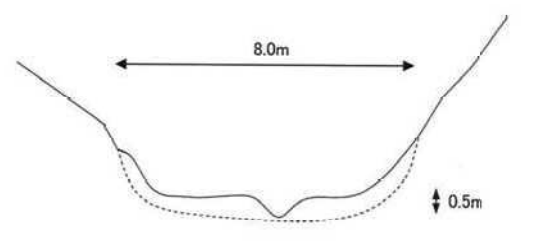

渓流の位置		渓流番号	渓流名		所在地		調査年度
		209-I-013	堂平川		飯能市 大河原		平成15年度
調査地点番号	S-1	調査地点の谷次数	0				
【現地スケッチ】							
平均侵食幅B(m)	8.00	平均侵食深De(m)	0.30	侵食可能断面積Ae(m <sup>2</sup> )	2.40		
【現地写真】							
【備考】							
調査地点番号	S-2	調査地点の谷次数	1				
【現地スケッチ】							
平均侵食幅B(m)	5.00	平均侵食深De(m)	0.50	侵食可能断面積Ae(m <sup>2</sup> )	2.50		
【現地写真】							
【備考】							



### 土石流区域調査

様式4-5 土石流により流下する土石等の量の調査結果(調査地点の現地スケッチ・写真、平均侵食幅、平均侵食深、侵食可能断面積)

調査年度 平成15年度

溪流の位置	溪流番号 209-I-013	溪流名 堂平川	所在地 飯能市 大河原
調査地点番号 S-3	調査地点の谷次数 2	調査地点番号	調査地点の谷次数
【現地スケッチ】		【現地スケッチ】	
			
平均侵食幅B(m)	8.00	平均侵食深De(m)	0.50
侵食可能断面積Ae(m <sup>2</sup> )	4.00	侵食可能断面積Ae(m <sup>2</sup> )	0.00
【現地写真】		【現地写真】	
			
【備考】 底部で露岩していたため、流路の底部程度までを侵食深とした。		【備考】	

### 土石流区域調査

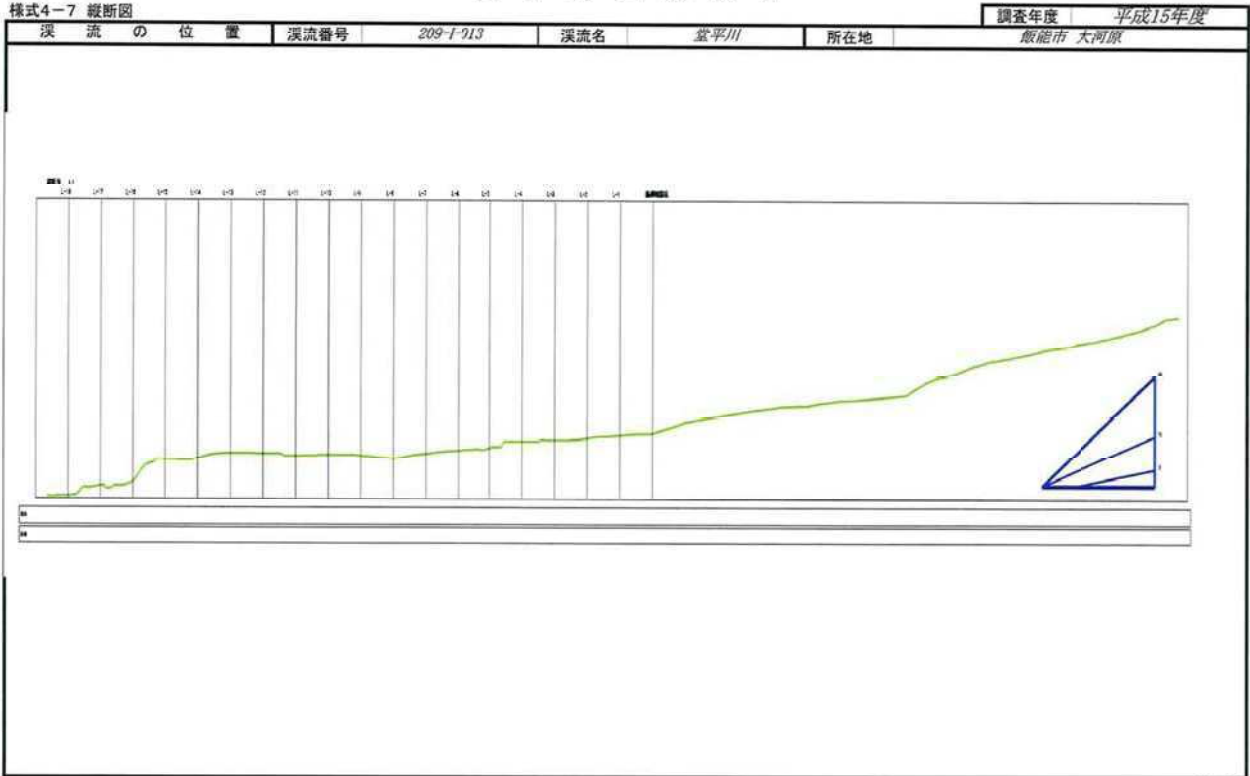
様式4-6 流下方向・横断測線位置図

調査年度 平成15年度



# 土石流区域調査

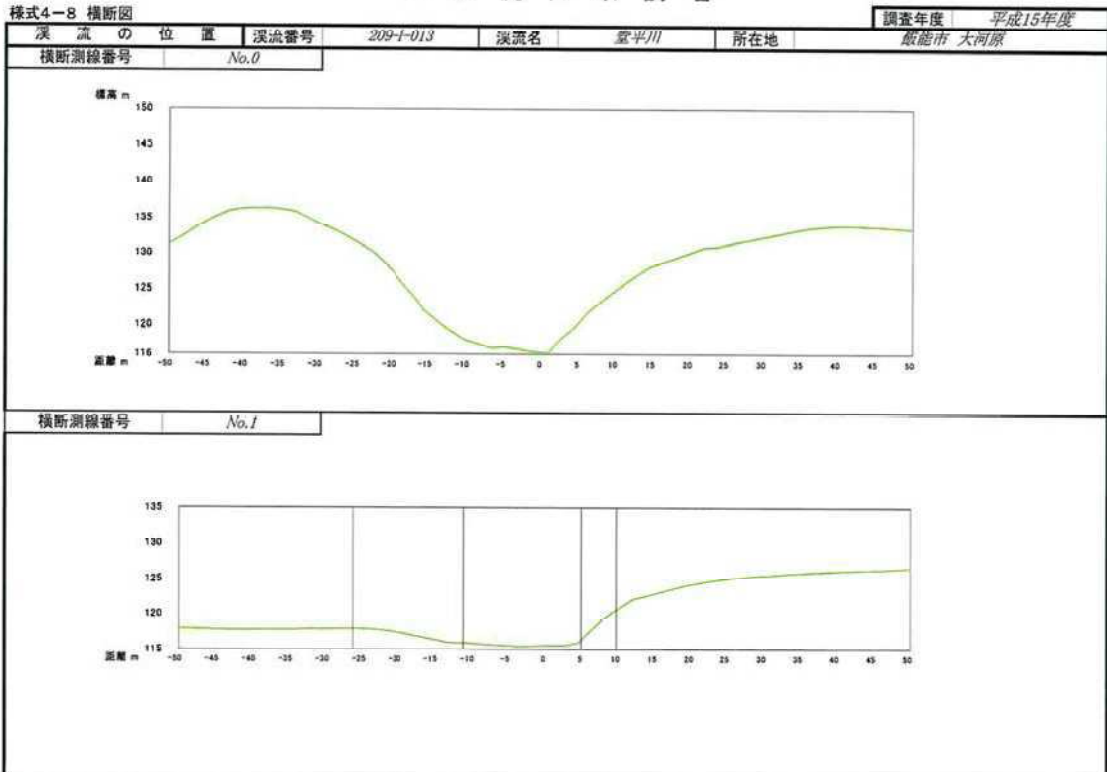
様式4-7 縦断面



埼玉県

# 土石流区域調査

様式4-8 横断面

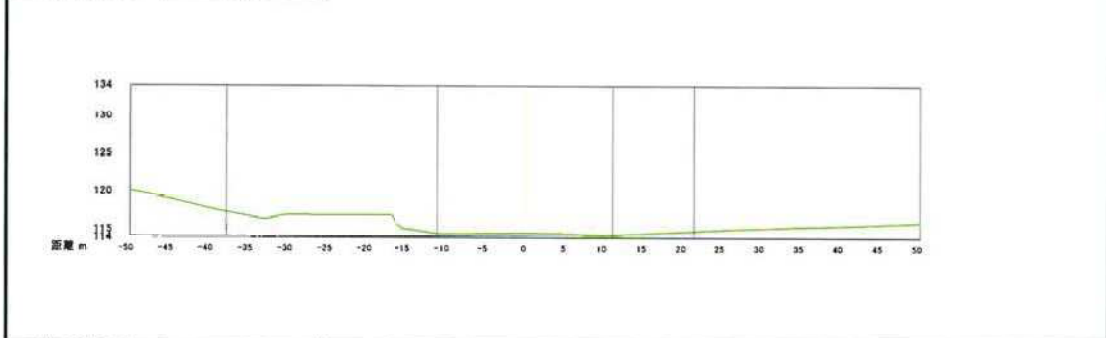


埼玉県

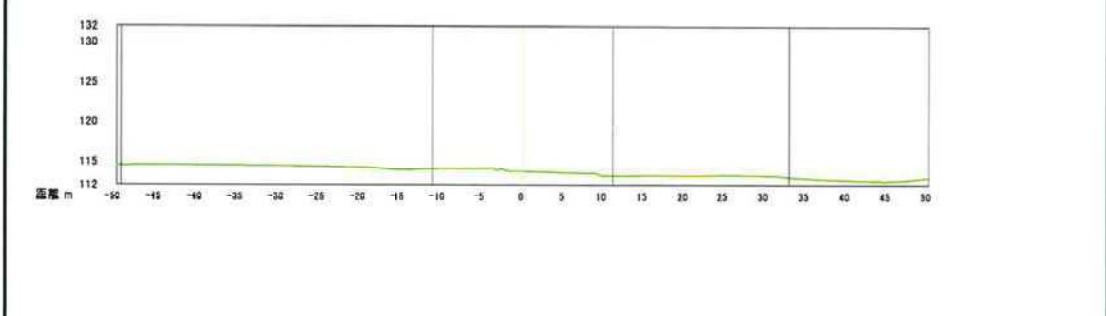
## 土石流区域調書

様式4-8 横断面

渓流の位置	渓流番号	渓流名	調査年度
	209-I-013	堂平川	平成15年度
横断測線番号		所在地	
No.2		飯能市 大河原	



横断測線番号	No.3
--------	------

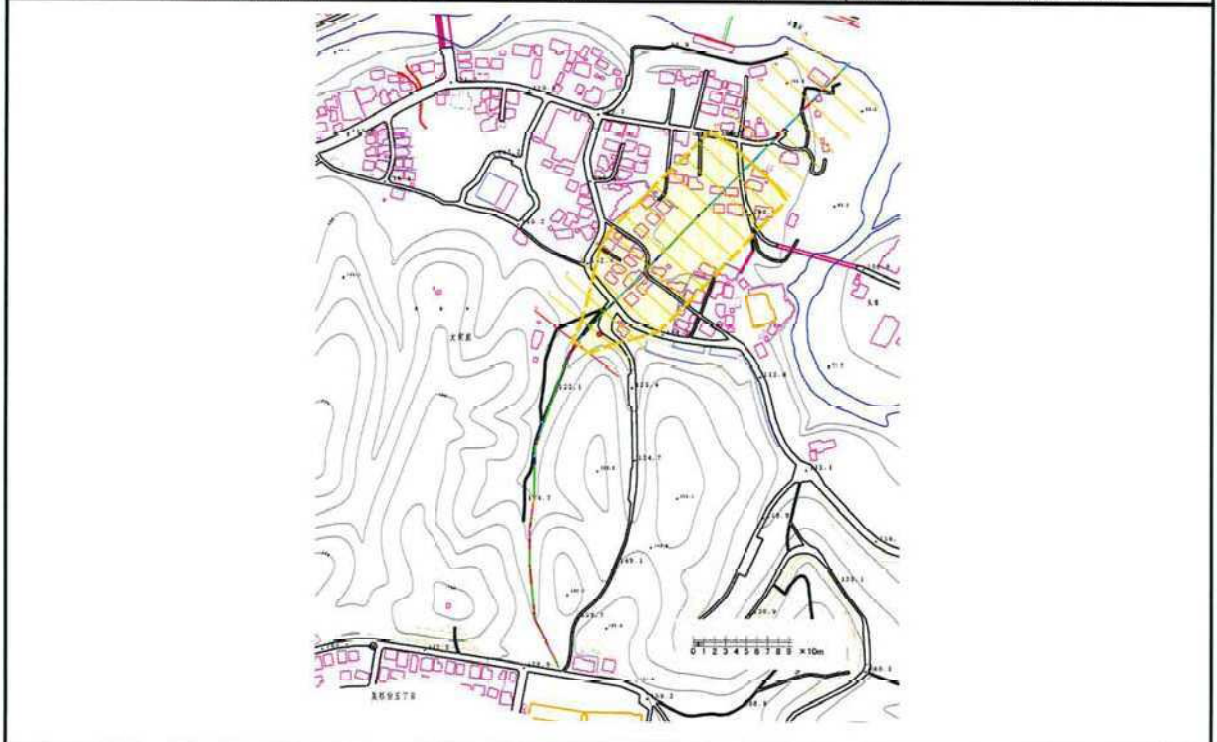


埼玉県

## 土石流区域調書

様式4-9 危害のおそれある土地の区域設定根拠図

渓流の位置	渓流番号	調査年度
	209-I-013	平成15年度
渓流名		所在地
堂平川		飯能市 大河原



埼玉県



### 土石流区域調査書

様式4-10 危害のおそれのある土地等の区域設定に関する計算結果

調査年度 平成15年度

溪流の位置	溪流番号	209-I-013		溪流名	堂平川	所在地	飯能市 大河原									
各パラメータ 土石流により流下する土石等の量V(m <sup>3</sup> ) 1,000 礫の密度σ(t/m <sup>3</sup> ) 2.6 水の密度ρ(t/m <sup>3</sup> ) 1.2 堆積土砂の内部摩擦角φ(°) 35 堆積土砂の容積土砂濃度C <sub>v</sub> 0.6 基準地点の地盤勾配θ(°) 7.04 レジーム係数α 4 レジーム乗乗係数β 0.5	横断測線番号	地盤勾配θ(°)	計算勾配θ2(°)	累加距離L(m)	土石流の密度ρd(t/m <sup>3</sup> )	土石流の濃度Cd	粗度係数n	土石流により流下する土石等の量V(m <sup>3</sup> )	土石流ピーク流量Qsp(m <sup>3</sup> /s)	土石流の流下する幅B(m)	土石流の流下する幅の計算手法	土石流の高さh(m)	土石流の流速U(m/s)	土石流の流体力Fd(kN/m <sup>2</sup> )	建築物の耐力P2(kN/m <sup>2</sup> )	判定※
	No.0	7.04	7.04	0	1.46	0.18	0.1	1000.0	32.7	11.69	マニング型	0.89	3.21	15.09	8.52	R
	No.1	6.03	6.03	20	1.42	0.15	0.1	781.0	30.0	16.02	マニング型	0.60	2.31	7.55	11.81	Y
	No.2	4.88	4.88	40	1.37	0.12	0.1	560.5	28.3	22.09	レジーム型	0.61	2.10	6.01	11.59	Y
	No.3	4.40	4.40	60	1.35	0.11	0.1	484.8	27.5	22.09	レジーム型	0.62	2.01	5.40	11.44	Y
	No.4	4.31	4.31	80	1.34	0.10	0.1	471.2	27.4	21.35	レジーム型	0.62	2.00	5.35	11.41	Y
	No.5	4.54	4.54	100	1.35	0.11	0.1	506.3	27.7	11.04	マニング型	0.62	2.04	5.62	11.49	Y
	No.6	4.57	4.57	120	1.35	0.11	0.1	511.2	27.8	22.09	レジーム型	0.62	2.04	5.65	11.60	Y
	No.7	4.42	4.42	140	1.35	0.11	0.1	488.6	27.6	22.09	レジーム型	0.62	2.02	5.48	11.45	Y
	No.8	4.41	4.41	160	1.35	0.11	0.1	487.0	27.5	22.09	レジーム型	0.62	2.01	5.47	11.45	Y
	No.9	3.50	3.50	180	1.31	0.08	0.1	359.3	26.3	22.09	レジーム型	0.64	1.84	4.47	11.05	Y
	No.10	2.35	2.35	200	1.27	0.05	0.1	221.6	24.9	22.09	レジーム型	0.70	1.60	3.27	10.25	Y
	No.11	2.24	2.24	220	1.27	0.05	0.1	209.4	24.8	22.09	レジーム型	0.71	1.58	3.16	10.15	Y
	No.12	1.66	1.66	240	1.25	0.04	0.1	149.4	24.2	22.09	レジーム型	0.77	1.43	2.55	9.53	Y
	No.13	1.41	1.41	260	1.24	0.03	0.1	124.1	23.9	22.09	レジーム型	0.80	1.35	2.27	9.18	Y
	No.14	1.79	1.79	280	1.26	0.04	0.1	162.5	24.3	21.82	レジーム型	0.76	1.46	2.69	9.68	Y
	No.15	1.29	1.29	300	1.24	0.03	0.1	112.6	23.8	22.09	レジーム型	0.82	1.31	2.14	9.00	Y
	No.16	3.27	3.27	320	1.31	0.08	0.1	329.7	26.0	11.04	マニング型	0.65	1.80	4.29	10.62	Y
	No.17	3.41	3.41	340	1.31	0.08	0.1	347.0	26.1	11.04	マニング型	0.65	1.83	4.37	11.00	Y
No.18	3.90	3.90	360	1.33	0.09	0.1	413.5	26.8	11.04	マニング型	0.69	1.92	4.91	11.25	Y	

※R: 著しい危害のおそれのある土地の区域 Y: 危害のおそれのある土地の区域

埼玉県

### 土石流区域調査書

様式4-11 えん堤施設の安定計算結果

調査年度 平成15年度

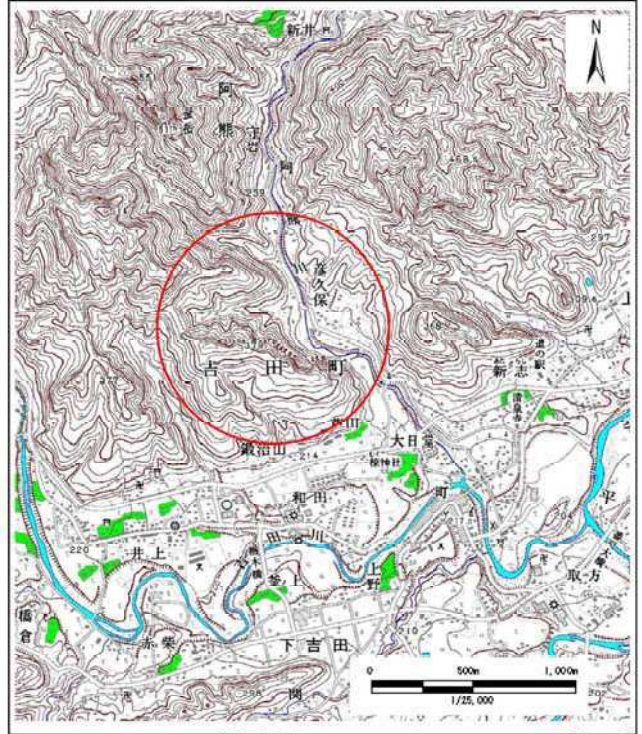
溪流の位置	溪流番号	209-I-013		溪流名	堂平川	所在地	飯能市 大河原	
対策施設番号		施設名称						

埼玉県

# 土砂災害防止に関する基礎調査(地滑り)

表紙 位置、位置図

自然現象の種類	地滑り
箇所番号	〇-〇〇
箇所名	〇〇
所在地	埼玉県〇〇市〇〇
調査機関	埼玉県〇〇県土整備事務所



位置図(S=1:200,000)

位置図(S=1:25,000)

埼玉県

## 地滑り区域調査書

様式 1-1 公示履歴等				調査年度	平成〇〇年度				
地滑りの位置	箇所番号	〇-〇〇	箇所名	〇〇	所在地	埼玉県〇〇市〇〇			
公示履歴				土砂災害警戒区域等の重複					
地滑り区域	公示年月	公示番号	指定・解除	理由	箇所番号	箇所名	自然現象の種類	種類	公示年月
基礎調査履歴									
回数	調査年月	理由							
1回目	平成23年12月	基礎調査							
地すべり防止区域									
指定年月日	告示番号	区域名称	指定面積 (ha)	所管					
地すべり危険箇所・危険地区・危険地									
箇所番号	箇所名	箇所区分	箇所面積 (ha)	所管					
〇-〇〇	〇〇	地すべり危険箇所	26.2	埼玉県					
砂防基盤図									
空中写真撮影年度	平成16年度								
図化年度	平成16年度								
種類	砂防基盤図 (DM・TIN・オルソフォト) データ								
図面縮尺	1/2,500								
新規・修正の区分	新規								
準拠ガイドライン名	土砂災害防止法に使用する数値地図作成ガイドライン (案) (第7版)								

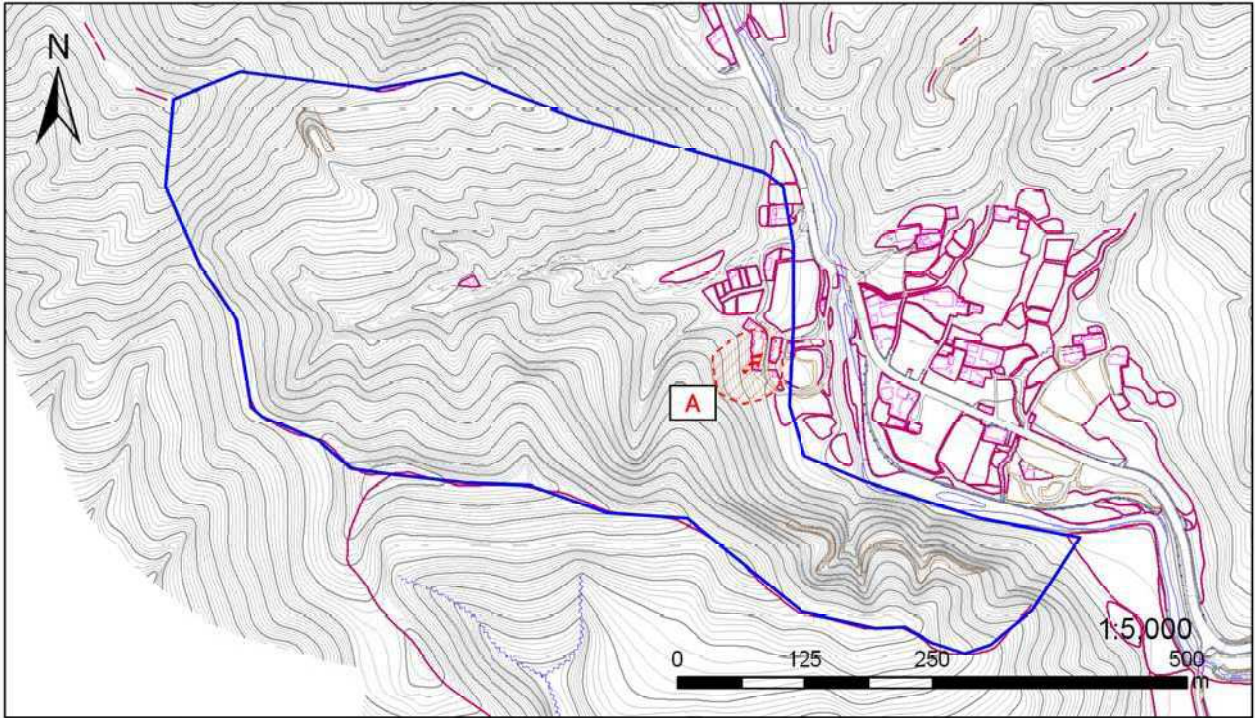


# 地 滑 り 区 域 調 査 書

様式2-1 地滑り区域の特定図

調査年度 平成〇〇年度

地滑りの位置 箇所番号 〇-〇〇 箇所名 〇〇 箇所区分 地すべり危険箇所 所在地 埼玉県〇〇市〇〇



埼玉県

# 地 滑 り 区 域 調 査 書

様式2-2(1) 地形・地質状況等

調査年度 平成〇〇年度

地滑りの位置 箇所番号 〇-〇〇 箇所名 〇〇 所在地 埼玉県〇〇市〇〇

地滑りブロック名 〇〇a 既往調査による地滑りブロックの番号 - 箇所区分 地すべり危険箇所

資料調査結果			
ボーリング調査	無	ボーリング調査の実施状況	
動態観測	無	動態観測の種類	
		動態観測による変動状況	
対策施設	無	対策施設の種類	
災害履歴	無	概略の災害状況	

地形調査・現地調査結果(地滑りブロックの明瞭性・滑動性に関する事項)

地形調査結果		現地調査結果				
地滑りブロックの位置	地滑り地形の明瞭性	地滑りブロックの明瞭性に関する事項		地滑りブロックの滑動性に関する事項		
		確認項目	判定欄	確認事項	判定欄	
頭部	不明瞭	滑落崖 有 陥没・凹地 無 段差地形 無 その他 ( )	有 無 無	後背亀裂 有 引張亀裂 有 構造物等の変状 有 その他 ( )	無 無 無	急崖が形成されているが、新鮮な地滑り現象の痕跡は認められない。
側方部(右側)	不明瞭	側方崖 無 ガリ-・浸食谷 無 段差地形 無 その他 ( 尾根地形 )	無 無 無	側方亀裂 有 側方崩壊 有 構造物等の変状 有 その他 ( )	無 無 無	尾根地形に規制されるものと判断した。
側方部(左側)	不明瞭	側方崖 有 ガリ-・浸食谷 無 段差地形 無 その他 ( )	有 無 無	側方亀裂 有 側方崩壊 有 構造物等の変状 有 その他 ( )	無 無 無	側方崖が形成されているが、新鮮な地滑り現象の痕跡の痕跡は認められない。
末端部	不明瞭	末端隆起・押し出し地形 有 河川の異常屈曲 無 地形変換線(遷線線) 無 その他 ( )	有 無 無	隆起・押し出し現象 有 圧縮亀裂 有 構造物等の変状 有 その他 ( )	無 無 無	押し出し地形が見られるが、新鮮な地滑り滑動の痕跡は認められない。人家等の立地により地形改変されている。
地滑りブロックの明瞭性の判定	全体の輪郭 確定できない 末端部 確定できない	判定の根拠		判定の根拠		頭部、側方部、末端部は空中写真と現地調査により判断した。
地滑りブロックの滑動性の判定	滑動が確認できない		判定の根拠		地滑りブロック全体に滑動性を示す変動現象は確認できなかった。	
地滑りブロックの形状	長さ(m) 82	幅(m) 67	層厚(m) 9	ランク区分※	C	
地滑り方向の設定根拠	空中写真判読および現地調査から、概ね地形の最大傾斜方向を滑り方向とした。					
地滑りブロックより下方斜面の状況	宅地、農地、道路を含む平坦面および小規模河川					

※地滑りブロックの段階でランク区分する場合に記入

埼玉県



## 地 滑 り 区 域 調 査 書

様式2-2(2) 地形・地質状況等		調査年度		平成〇〇年度		
地滑りの位置	箇所番号	〇-〇〇	箇所名	〇〇	所在地	埼玉県〇〇市〇〇
地滑りブロック名	〇〇a	既往調査による地滑りブロック名の番号		-	箇所区分	地すべり危険箇所
地形調査・現地調査結果(その他、地滑りに関連する調査事項)						
その他調査項目	確認事項	判定欄			特記事項	
地表水・地下水の状況	湧水	無				
	湿地・池・沼	無				
植生状況	主な植生の種類	広葉樹、針葉樹など				
土地利用状況	主な土地の種類	宅地・道路・林地				
地形・地質状況	地滑りの分類/種類	第三紀層地滑り/崩積土地滑り				
	地滑り地塊の土質	礫混り土砂				
	基盤岩の地質時代	新第三紀中新世				
	基盤地質名	秩父盆地層群			出典:5万分の1地質図幅「寄居」、地質調査所	
	基盤岩の種類	砂岩(白沙層)、シルト岩(富田層)、凝灰質砂岩(子ノ神層)				
	斜面の平均勾配	21°				
	地滑り方向に対する基盤岩の地質構造	不明				
対策施設の状況	変状の有無	無	変状状況			
その他特記事項(変状確認時の聞き取り調査など) 特になし						

埼玉県

## 地 滑 り 区 域 調 査 書

様式2-3 過去の災害実態		調査年度		平成〇〇年度		
地滑りの位置	箇所番号	〇-〇〇	箇所名	〇〇	所在地	埼玉県〇〇市〇〇
地滑りブロック名	〇〇a	既往調査による地滑りブロックの番号		-	箇所区分	地すべり危険箇所
発生日時等	発生年月日	発生時刻	発生位置	北緯	東経	
地滑りの規模等	長さ (m)	斜面勾配 (度)	移動土砂量 (m <sup>3</sup> )	地滑り地の種類	基盤地質名	
	幅 (m)		移動距離 (m)	地滑り地塊の性状	単位地積重量 (kN/m <sup>3</sup> )	
	移動層厚 (m)				内部摩擦角 (°)	
災害発生状況	なし					
地滑りの規模	なし					<p>幅 (地滑り方向の最大幅) 長さ 移動距離 (※頂部の最大移動距離) 移動距離 (平準部の最大移動距離) 長さ 移動層厚 斜面勾配</p>
被害	人的被害の状況	死者(人) 被災戸数(戸) 被災家屋の構造	行方不明者(人) (全壊・流出)	負傷者(人) 半壊	(重傷者: 一部損壊)	軽傷者: )
気象	降雨量	連続雨量(mm)	最大24時間雨量(mm)	最大時間雨量(mm)		
	観測所名	異常気象名				
その他特記事項						

埼玉県